

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	交通事故現場における救急活動時の危険事例
3. 体験した事例の中心的要素	交通事故現場で負傷者を救出後、道路脇で観察中、停車していた救急車両に後方から事故現場に侵入してきたトラックが接触し、救急車の一部が破損した。しかし、救急車内に救急隊員及び傷病者が所在していなかったため死傷事故にはいたらなかった。
4. 体験した事例の原因・理由	事故車両が道路中央に横転していたことにより、道路幅が狭くなったところにトラックが無理に現場を通過しようとしたため救急車両に接触したものの。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

.....

1. 発生日時	平成 18 年 7 月 24 日 午前 12 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：幹線道路
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故、
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動中期、 []
8. (7 の活動中) どのような作業中に発生したか	応急処置、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[49]歳、 勤続年数[32]年、 現場経験年数[30] 年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[32]歳、 勤続年数[13]年、 現場経験年数[13]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[29]歳、 勤続年数[9]年、 現場経験年数[9]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

1 1 . 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A . B . C	歩道で観察を行う。	
経過 2	当事者 A	無線を担当	
経過 3	当事者 B	電話連絡する。	
経過 4	当事者 C	応急手当実施	
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

.....

- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

[illegible]

- ## ○心理・体調について

- a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

- b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l . その他の理由があった。

いいえ	
-----	--

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○ 注意力欠如、焦り等の対策について

常に平常心で冷静な行動に心掛ける。

○ 装備・資機材の対策について

なし

○ 活動環境の対策について

なし

○ 指揮・情報伝達の対策について

負傷者の容体の確認及び走行障害の確認をする。車両停車位置の再確認及び機関員、隊員に対する教育指導、通行に支障が来たす状況においては、交通事故等に限らず空地等があればそこへ停車させ対応する。

